

船舶事故調査報告書

平成22年9月9日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 横山 鐵 男（部会長）
 委員 山本 哲 也
 委員 根本 美 奈

事故種類	乗組員死亡	
発生日時	不明（平成22年3月4日 09時50分ごろ～10時30分ごろの間）	
発生場所	不明（三重県津市江戸橋東方沖～志登茂川河口左岸の間）	
事故調査の経過	平成22年3月5日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）ほか2人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。	
事実情報	船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等 乗組員等に関する情報	漁船 ^{ちようえい} 長栄丸、6.1トン ME2-5036（漁船登録番号）、個人所有 11.93m(Lr)×3.06m×0.94m、FRP ディーゼル機関、漁船法馬力数35、昭和58年5月 船長 男性 61歳 二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和57年8月4日 免許証交付日 平成18年7月18日 （平成24年6月3日まで有効）
死傷者等	死亡 1人（船長）	
損傷	なし	
事故の経過	本船は、船長1人が乗り組み、僚船5隻とともに、江戸橋東方沖で青柳貝のけた網漁を行っていた。僚船1隻は、平成22年3月4日09時50分ごろ、操業中の本船を見た。 僚船は10時の水揚げのために白塚漁港に帰港したが、本船が帰港しなかったため、僚船等が捜索したところ、10時30分ごろ、志登茂川河口左岸に漂着している無人の本船が発見され、15時24分ごろ、なぎさ町の北防波堤付近で、漂流している船長が発見された。 船長は、搬送された病院で死亡が確認され、死因は溺水と検案された。	
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 西南西～南南西、風速 0.9～1.6m/s 海象：水温 約10℃	
その他の事項	船長は、糖尿病の治療を受けており、約2年前からは心臓にペースメーカーを埋め込んでいたが、日常生活に支障はなく、操業に従事していた。 発見された本船には、船首部にけた網が収納され、後部甲板に作業用ナイフが置いてあり、プロペラにロープが絡んでいた。 船長は、收容されたとき、救命胴衣を着用していなかった。	

分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>不明</p> <p>不明</p> <p>不明</p> <p>船長の死因は溺水であった。</p> <p>本船は、船長が1人で乗船し、09時50分ごろ江戸橋東方沖で作業中の本船が目撃されたのち、10時30分ごろ志登茂川河口左岸に漂着している無人の本船が船首部にけた網が収納され、後部甲板に作業用ナイフが置かれてプロペラにロープが絡んだ状態で発見されたことから、この間において、船長がプロペラに絡んだロープを取り外す作業中に落水したものと考えられるが、その状況を明らかにすることはできなかった。</p> <p>船長は、救命胴衣を着用せず、落水したものと考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、本船が江戸橋東方沖で作業後、プロペラに絡んだロープを取り外す作業中、船長が落水したことにより発生したものと考えられる。</p>	